

令和5年3月23日

小平市長 殿

住所

たきviva!

氏名 代表 棚橋 早苗

(法人の場合は、主たる事務所の所在地、名称及び代表者)

※本人が自署しない場合や法人の場合は、記名押印してください。



小平市いきいき協働事業実績報告書

令和4年度小平市いきいき協働事業について、下記のとおり関係書類を添えて報告します。
記

いきいき協働事業の名称	市民版環境配慮指針リニューアルと啓発イベントの開催	
実施結果	実施日・実施期間	令和4年6月1日から令和5年3月13日まで
	実施場所	1. 制作ワークショップ：リサイクルセンター多目的ルーム Zoomを併用 (①7/17、②7/30、③8/28) 3. 制作打ち合わせ：Zoom開催 (④11/1、⑤11/27、⑥12/26) 4. メーリングリスト (ML) 上での意見交換 (10月以降常時) 5. お披露目イベント：ルネこだいらレセプションホール (⑦R5年3/11) 6. ふりかえりとアイデア個人発表会：Zoom開催 (⑧R5年3/21)
	人員体制 (スタッフ)	延べ実人数 (4. ML以外) 表記：参加者 (参) ファシリテーター (F) ナビゲーター (N) 事務局 (J) ※参加者にはエコダイラネットワークメンバーも含む ① 7/17第5回検討会 参:10、F:1、N:1、J:4 =計16 ② 7/30第6回検討会 参:8、zoom4、F:1、N:1、J:4 =計18 ③ 8/28第7回検討会 参:対面9 zoom5、F:1、N:1、J:4 =計20 ④ 11/1第8回検討会zoom 参:8、F:1、J:4 =計13 ⑤ 11/27第9回検討会zoom 参:8、F:1、N:1、J:4 =計14 ⑥ 12/26第10回検討会zoom 参:4、F:1、N:1、J:4 =計10 ⑦ R5年3/11お披露目イベント：参:24、F:3、J:5=計32 ⑧ R5年3/21ふりかえりとアイデア個人発表会zoom：参:8、F:1、J:3 =計12 延べ実人数 合計135人 (スタッフ47、参加者88) ----- スタッフ延べ実人数：47人 (算定式)
	参加者数	延べ人数 135人(スタッフ47、参加者88)

	内 容	2030年に向けて市内の二酸化炭素の削減を図っていくためには、家庭向けに地球温暖化対策を推進し、環境にやさしい暮らしを広く普及啓発する必要がある。そこで日々の生活の中で取り組める環境に優しい暮らし方を実現するためのアイデアをまとめた指針（冊子）である「小平 市民版環境配慮指針」を市民・市民団体と協働で作成するとともに、掲載内容の検討及び周知のため、市民団体や市民を含めたワークショップや啓発イベントを開催する。
	実施効果 (成果)	<p>前回（2015年度版）の市民版環境配慮指針はあまり普及していない実態が明らかになった（アンケート調査）。内容と配布方法をふりかえり、改善できる点がないわけではないが、内容そのものはよいものだと評価できた。</p> <p>そのため、今版は「普及すること」と、さらに「実際に行動に移してもらうこと」を目標にした。内容は「小平らしさ」「楽しく省エネ」「子どもが読めれば大人にも広まる」「ひとりの100歩より100人の一歩」「具体的に削減量がわかること」「『問いかけ』を『きっかけ』にすること」「行動実践」をコンセプトとして制作した。</p> <p>工夫点として、「問い」の形式にすることで興味をもってもらいやすくすることと、実行するために、どの程度なにをすればよいのかを導く数字と、換算しやすい「新たな単位」を提案したことを挙げることができる。</p> <p>また、より普及させるために、「費用対効果の高い仕様」の冊子とし、小さい冊子で、多部数をたくさん配布することとした。市内公共施設に複数置くことと決め、宣伝用ポスターも制作した。</p> <p>また、冊子を使って伝えるワークや、SNS等デジタルメディアを使い定期的に発信をし続けていく仕組みづくり、人を育てる講座、環境関連の他団体とつなげて開催するイベント、発表会やコンクールなどを開催したいなど、これに続く活動アイデアが出されており、今後の活動が楽しく活発に行われることが期待できると思われる。</p>
添付資料	印刷物・イベント報告・実施スケジュール	

※ この実績報告書に記載しきれない場合は、別途提出してください。

受 付 日	令和5年3月23日
-------	-----------

いきいき協働事業評価シート

団体用

○ 協働事業の概要

記入年月日 令和5年3月23日

事業名	市民版環境配慮指針リニューアルと啓発イベントの開催
団体名	たき viva!
担当課名	環境政策課
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日まで

いきいき協働事業の自己評価について、ご記入ください。

① 地域の課題が解決されましたか。(計画時に設定した課題がどの程度解決されましたか。対象者がどう変わりましたか。)

多様な市民のみなさんとの話し合いの中で、今回の冊子で大切にしたいことを洗い出し、絞り込んで目標を設定できた。総合的に検討しながら詰めていき、ひとつの解の方向性としてよいものができたと考えている。

また、過去の冊子とは異なる特徴を持つ冊子にすることができ、小平市民一人ひとりが2030年までに削減しなければならないとされる削減量を計算し、1人が1年で削減する量を提示したことで、何をどの程度やればよいのかがわかるようにした提案は、画期的なものと思っている。さらに、換算しやすい数字に置き換えて新しい単位を提案しているので、子どもでも数えやすく、目標設定がしやすいと思うので、市民のみなさんがご家族で取り組んでくれることを期待している。

課題が解決されたかどうかは、まずは今後この冊子を「普及」しなければならず、費用対効果の高い(安く印刷可能な)仕様としたので、今後も多部数を印刷してどんどん配布されることを願う。そのためには、ポスター宣伝や冊子を公共施設に常にたくさん配置すること、また、定期的に SNS なども駆使して発信をしていくことなどを平行して行うことで、より普及できると考えており、今後の冊子を用いたワークやイベント開催などに期待したい。今回のワークショップを通じて、そのような活動やモチベーションを高めるつながりは多少なりともできたと感じている。

② 団体の長所を、発揮させることが出来ましたか。(市民の共感を引き出し、行政や企業では出来ない良質な成果が得られましたか。市・団体が単独で実施するより効果的・効率的に事業展開ができましたか。)

当団体はデザインやワークショップ進行を強みとしており、生かすことができた。また、多様で個性ある方々にご参加いただけたことで、さまざまは方向からの意見が出された。これらは、全部を取り入れることは不可能で、また、すべてを漏れなくまとめることはできない。しかし、ひとりや、ひとつの団体では出てこない多様な意見を聞きながら、たたき台を精査していくことができたと思っている。

③ 協働の姿勢が図られましたか。(互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方など相互理解が図られたか。対等関係を維持するために適切な協議や意見交換の機会を設けましたか。相手方と十分な情報の共有が図られましたか。)

検討会が多数回に及んだが、事前に打ち合わせを行い、スケジュールや内容を都度調整しながら進められた。また環境啓発は幅広く、すべて繋がっている事柄ではあるが、今回は脱炭素・気候変動の問題がメインテーマであり、そのバ

ランスをとることが求められ、全体で納得しながら進める摺り合わせはなかなか難儀ではあったが、意見を摺り合わせ話し合いながら軌道修正でき、よかったと思う。

④ 改善提案がありますか。

今回の反省点の大きなひとつは、参加した人たちが「自分がつくった」「参加感」が少なかったであろうことだ。

参加者それぞれの都合もあるため、日程やコロナ禍などにより、全回に参加できた参加者は多くなく、また時間の制約などもあり、まずは完成させること、目的に適したよりよいものを作成することを優先した進行になった。そのため、参加者にとっては、「自分がつくった」という参加感が少なくなってしまったことは、検討すべき点で、「より効果的なものを時間内で完成させること」と「参加感」を両立するためには、もっと時間と開催回数、ほとんどの人のリアル参加が必要である。

以上、いずれにしても、余裕のある計画でなければ難しい。その意味で、今回、当団体の一番の反省点は、早め早めの進行ができなかったことである。

また、参加メンバーがとても個性あふれるそれぞれが魅力的な人たちだったのだから、当団体がその資源を十分に生かすことができなかつたと思っている。もっと早くからお互いを知る機会を作ることができていたら、それぞれのよいところを生かすことができたかもしれないと思う。これもコロナ禍であったことも一因であり、懇親会のようなことができたならば、もっと違う関係を築くことができ、進行も違っていたかもしれないと思う。

自由記載欄

内容についての専門家としてナビゲーターに中島先生を立ててくださったことは、非常にありがたかった。

また、環境政策課さんからは、定期的にご連絡をいただき、先回りして早め早めに相談などをしてくださり、とても進めやすく、感謝いたします。

○ 協働事業の概要

記入年月日 令和5年3月29日

事業名	市民版環境配慮指針リニューアルと啓発イベントの開催
団体名	たき viva!
担当課名	環境政策課
事業期間	令和4年6月1日～令和5年3月13日

いきいき協働事業の自己評価について、ご記入ください。

① 地域の課題が解決されましたか。(計画時に設定した課題がどの程度解決されましたか。対象者がどう変わりましたか。)

二酸化炭素の排出削減や気候変動への対策に向けた取組が急務であり、特に市全体の二酸化炭素排出量の70%を占める家庭部門・業務部門をいかに削減するかが重要課題となっている。この度、地球温暖化や家庭での省エネ対策について楽しく考えることができる「小平 市民版環境配慮指針」を市民や市民団体が主体となり協働で作成することができ、市民に環境への意識付けを図ることができた。

② 団体の長所を、発揮させることが出来たか。(市民の共感を引き出し、行政や企業では出来ない良質な成果が得られましたか。市・団体が単独で実施するより効果的・効率的に事業展開ができましたか。)

団体は、多様な意見をデザイン化し、多様な主体とのつながりを作り上げていくことに秀でている団体であり、冊子の作成に当たっては、市民、市民団体と何度も検討会を重ねることで、市民の共感を引き出し、市民目線の内容のものを作成することができた。

③ 協働の姿勢が図られましたか。(互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方など相互理解が図られたか。対等関係を維持するために適切な協議や意見交換の機会を設けましたか。相手方と十分な情報の共有が図られましたか。)

検討会を開催する際は、必ず打合せを行い、内容、スケジュール、役割分担について綿密な確認を行った。また、確認事項や情報提供についても電話やメールを利用し、頻繁にやり取りをして、情報共有を図った。そのため、互いの組織としての理念や考え方、本事業の目的を共有することができ、ある程度足並みを揃えて事業を展開することができた。

④ 改善提案がありますか。

最終的な目標として冊子の作成であったが、検討会を積み重ねる中で、内容から脱線した部分も多くあり、予定した検討会の中では内容をすべてまとめることはできなかつたため、参加した人たちが「自分がつくった感」が少なかったかもしれない。検討会ごとの明確な目標を示し、管理していくべきであった。

自由記載欄

冊子が完成して終わりではなく、スタートであり、今後、冊子を基にしたイベントについても、今回得られたつながりを活かしながら積極的に進めていく。

令和4年度実施「いきいき協働事業」相互検証評価シート

事業名	市民版環境配慮指針リニューアルと啓発イベントの開催
団体名	たき viva!
担当課名	環境部環境政策課

① 目的の共有（事業の目的をお互いに理解し、共有しながら事業を進めたか）

団体自己評価 :十分達成できた	担当課自己評価 :十分達成できた
<p>・2030年に向けて家庭部門についても二酸化炭素の排出抑制の早急な対策が必要であるため、家庭向けに地球温暖化対策を推進するための冊子をリニューアルし、広く普及啓発をすることを共有できている。</p>	

② 自主・自立の尊重（双方の団体としての独立を尊重し、過度に依存することなく事業を進めたか）

団体自己評価 :十分達成できた	担当課自己評価 :十分達成できた
<p>・担当や互いの得意分野を尊重し合いながら進められた。</p>	

③ 相互理解（互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方を理解し、柔軟な対応が図られたか）

団体自己評価 :十分達成できた	担当課自己評価 :十分達成できた
<p>・役割分担など、適切に行っていただき、事前に連絡を取ってくださり、とても進めやすかった。</p>	

④ 対等関係（互いの事業活動における対等な立場を踏まえ、事業を進める様々な場面において、適切な協議、意見交換等の機会を設け一方的に決めることなく十分に話し合ったか）

団体自己評価 :達成できた	担当課自己評価 :達成できた
<p>・常に事前に相談をして進めていただいた。団体としては、もう少し早めに動く必要があったと思うところがある。</p>	

⑤ 情報の共有（相手方と十分な情報の共有ができたか）

団体自己評価 :達成できた	担当課自己評価 :達成できた
<p>・事前の情報共有も早めにしていただき共有できた。団体としては、もう少し早めに動く必要があったと思うところがある。</p>	

⑥ 役割分担と責任の明確化（事業実施にあたって役割分担が明確に定められていたか）

団体自己評価 :十分達成できた	担当課自己評価 :十分達成できた
<p>・役割分担など、事前に計画し、適切に行っていただいた。</p>	

⑦協働事業の相乗効果（市が単独で実施するより効果的・効率的な事業展開ができたか）

団体自己評価 :十分達成できた	担当課自己評価 :十分達成できた
・当方は得意分野・専門性を発揮でき、また、さまざまなバックアップや連絡などをしていただいた。	

⑧目標の達成（事業の目的が達成できたか）

団体自己評価 :十分達成できた	担当課自己評価 :十分達成できた
・家庭の温暖化対策のため、一歩進められる冊子にリニューアルできた。普及しやすい費用対抗の高い仕様を提案し実現できた。	

⑨地域の課題解決（事業を通じて地域の課題解決につながったか）

団体自己評価 :十分達成できた	担当課自己評価 :十分達成できた
・目標は達成できたと思うので、これをしっかり普及するためには、配布のために今後も定期的に情報発信などをしていく必要があると考える。また、参加者のみなさんには、そのためのモチベーションとつながりをつくることできたと考えている。	

⑩その他意見（提案団体から）

<p>参加者それぞれの都合もあるため、日程やコロナ禍などにより、全回に参加できた参加者は多くなく、また、時間の制約などもあり、まずは完成させること、目的に適したよりよいものを作成することを優先した進行になった。そのため、参加者にとっては、「自分がつくった」という参加感が少なくなってしまうことは、検討すべき点で、「より効果的なものを時間内で完成させること」と「参加感」を両立するためには、もっと時間と開催回数、ほとんどの人のリアル参加が必要である。</p> <p>また、今後の定期的な発信や活動を継続できるかどうかはとても重要なことだと思うので、プロジェクト参加メンバーが引き続きつながって活動を続けてくれるように、盛り上げて行く必要がある。</p>	
---	--

※自己評価項目

1	十分達成できた
2	達成できた
3	概ね達成できた
4	目標を下回った
5	達成できなかった

令和4年度のプロジェクト開催報告と予定

	【5】	【6】	【7】	【8】	【9】	【10】	【11】
日程	7月17日 (日)	7月30日 (土) PM	8月28日 (日)	11/1 (火) 18:00-19:30	12/27 (月) 19:00- 21:00	1-2月制作 ML常時 zoom打合1回 印刷へ	3月
	みんなで話そう 小平の環境配慮指 針③	みんなで話そう 小平の環境配慮指針 ④	構成・方向 性・担当の決 定	提案と 意見交換	提案と 意見交換	提案と 意見交換	お披露目 イベント 開催
内容	参加者による ワークショップ 形式 前回のコンセプ トや内容案 への評価・意見、	参加者による ワークショップ 形式 構成案への意見 出し 内容案協議	構成・方向 性・担当の案 の提示 意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ● デザイン 提案（説 明会） ● 意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ● デザイン 提案 ● 意見交 換 	<ul style="list-style-type: none"> ● 提案 ● 確認 ● イベントの準備 	<ul style="list-style-type: none"> ● イベント ● 基調講演 ● 参加者交流 イベントなど

環境フォーラム「こだいらのカーボンニュートラル 2050」実施報告

日時	令和5年3月11日（土）午後1時45分～4時15分										
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・エコダイラネットワーク代表代行挨拶 ・ミニ講義「気候変動とカーボンニュートラル」 ・カードゲーム体験（前半） ・休憩 ・振り返り（後半） ・市民版環境配慮指針お披露目 										
場所	ルネこだいら レセプションホール										
講師	中西 由季子さん（カードゲーム「2050カーボンニュートラル」公認ファシリテーター）										
参加者	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">エコダイラネットワークメンバー</td> <td style="text-align: right;">6名</td> </tr> <tr> <td>リニューアルプロジェクトメンバー</td> <td style="text-align: right;">8名</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">※内エコダイラネットワークメンバー5名含む</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td style="text-align: right;">24名</td> </tr> <tr> <td>環境政策課職員</td> <td style="text-align: right;">4名</td> </tr> </table>	エコダイラネットワークメンバー	6名	リニューアルプロジェクトメンバー	8名	※内エコダイラネットワークメンバー5名含む		参加者	24名	環境政策課職員	4名
エコダイラネットワークメンバー	6名										
リニューアルプロジェクトメンバー	8名										
※内エコダイラネットワークメンバー5名含む											
参加者	24名										
環境政策課職員	4名										
所感	<p>今回の環境フォーラムは、カードゲームのワークショップを体験してもらうことで、楽しみながらカーボンニュートラルについて学んでいただく場とした。また、リニューアルした市民版環境配慮指針のお披露目も行った。</p> <p>カードゲームは参加者が様々な業者等になりきり、2050年まで活動を行いカーボンニュートラルの達成を目指すものであった。今回のゲームでは、2050年にカーボンニュートラルを達成することができたが、達成に至るまでに排出したCO₂の影響等で様々な災害が起こり、経済にも悪影響を及ぼしたことから、早期の温暖化対策が必要なことが実感できた。参加者へ行ったアンケートでは、話を聞くだけの講演会より楽しく学ぶことができよかったという意見が多数あった。</p> <p>市民版環境配慮指針のお披露目は、冊子の制作・リニューアルプロジェクトのファシリテーションをしていただいた、棚橋氏から発表していただいた。参加者からは、一人当たりの削減目標が記載してあるので、行動変容のモチベーション向上につながりやすいという声があった。従前の冊子と比較し、サイズがコンパクトになっているため、持ち運びやコスト面でメリットが出せるので、積極的に普及啓発を行いたいと思う。</p> <p>参加者について、市報・HP・メルマガ・LINE等様々な方法で周知を行ったが、応募が少なかった。発信はしておりイベント情報は一定の層には届いていると思われるので、イベントに参加したくなる魅力的なポスターの作成等の工夫が必要だと考える。</p>										



開会・司会進行:堀米さん



エコダイラネットワーク
代表代行挨拶:松山さん



講師:中西 由季子さん



会場の様子



カード



チームで作戦を考える参加者



プロジェクトを実行する様子



他のチームと交渉する参加者



カードゲームの振り返り ①



カードゲームの振り返り ②



カードゲームの振り返り ③



カードゲームの振り返り ④



市民版環境配慮指針 お披露目



プレゼンター：棚橋さん



会場展示の様子



歴代冊子の展示